



SKY CREATION, INC.
Beyond Your Dream

2026



翔け！ 未来のパイロット

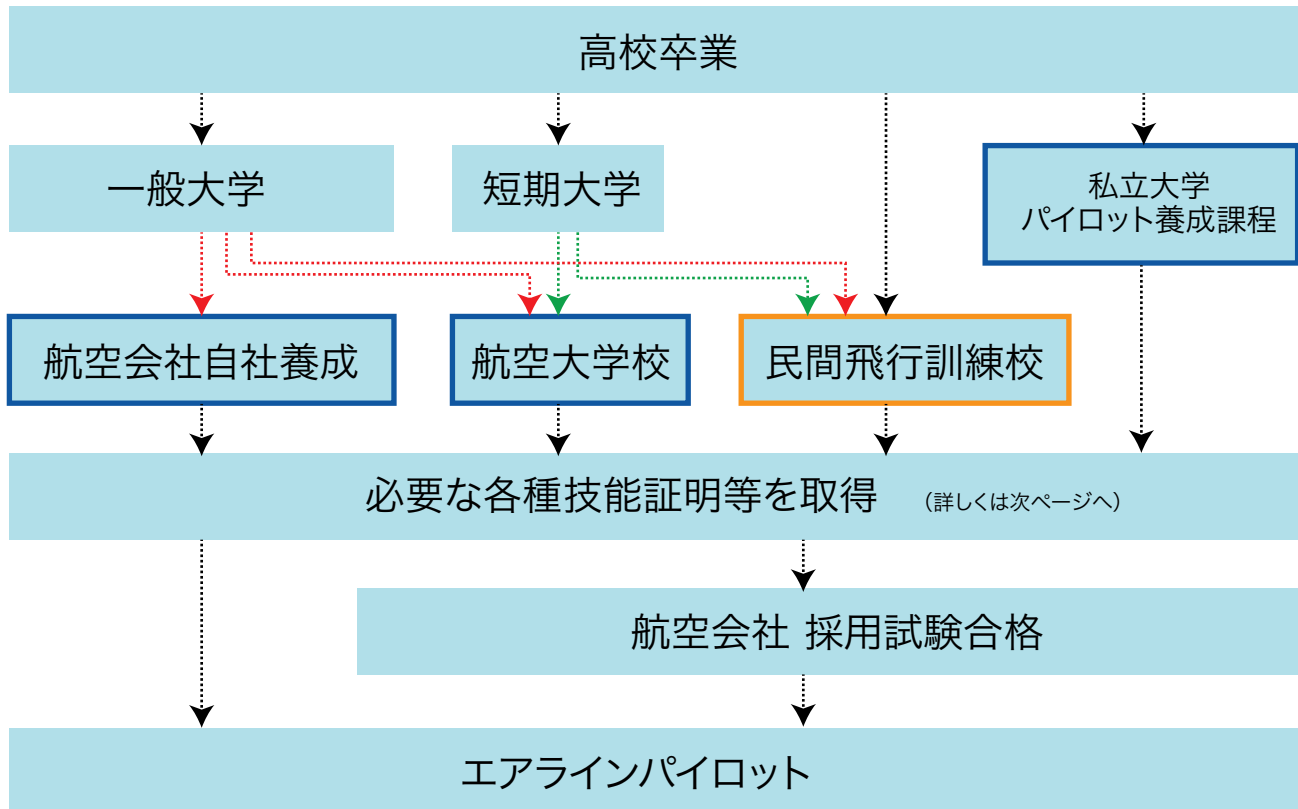
航大でも私大でも、自社養成でもない。

エアラインへの道は、自分で切り拓く。

Contents

01	空への第一歩 2 まずは知ろう！ 主な4つの進路
02	知っておきたい民間飛行訓練校選び .. 3 6つのチェックポイント
03	エアラインパイロットへの道のり 4 スカイクリエーションでライセンス取得からエアラインまでのステップ
04	スカイクリエーションの10個の強み 5 ここは免許を取るだけの場所じゃない <ul style="list-style-type: none">○ <就職> ゴールはコックピット○ <好機> 国が認めた最短距離○ <実践> 実践力を養う訓練フィールド○ <人材> 成長を支えるサポート
05	学生寮の紹介 8 同じ夢を追う仲間と過ごす
06	卒業生の声 9 日本で夢を実現した先輩たちのストーリー
特別	20周年記念 10 「生徒さんのためになるフライトスクールを作りたい」
番外編	
07	エアラインパイロットへの道のりーアメリカ編 12 スカイクリエーションでのライセンス取得からエアラインまでのステップ
08	卒業生の声 13 アメリカで夢を実現した先輩たちのストーリー

エアラインパイロットへの主な4つの進路



航空会社の自社養成

航空会社が直接育成する「自社養成パイロット」は、人気の高いルートです。一般的には、大学卒業(学士号取得)以上が応募条件となります。会社ごとに異なるため、詳細は各社の募集要項をご確認ください。ただし、自社養成の合格倍率は100倍以上とも言われています。5~6次選考過程があり、「学力+適性+人間性+体力・健康」において、高いバランス力が求められます。

航空大学校

航空大学校に入るには、4年制大学に2年在学し、62単位を取得していること、また短期大学・専門学校修了が、応募条件のひとつです。年齢制限がある上、合格倍率は7~10倍と高く、一般的にこちらも狭き門と言えるでしょう。

私立大学

私立大学は学費は高額になる傾向がありますが、学士号の取得とエアライン業界への挑戦を両立できる環境が整っています。

民間飛行訓練校

スカイクリエーションはここ

民間飛行訓練校は、社会人経験者の方も挑戦できる選択肢で、自費訓練であることが特徴的です。最近では、アメリカやオーストラリアでの航空留学も人気となっています。また20代前半の新卒者に加え、社会人を経てキャリアチェンジを目指す方も受け入れています。自社養成・航空大学校にたとえ縁がなかったとしても、新たな一歩を踏み出すチャレンジャーの多くは、自らの夢を叶えています。



スカイクリエーションの 特徴として

本校では、本田航空やLUXURY FLIGHTと提携し、エアライン就職を見据えたサポート体制を整えています。



就職先

▶ 訓練のゴールを明確にする

訓練校を選ぶ際にまず確認したいのが、卒業後の進路です。提携している訓練機関や就職実績、キャリアサポートの内容などによって、その後の道は大きく変わります。将来どの国で、どのようなキャリアを目指すのかを見据え、進路まで考えられる訓練校を選ぶことが重要です。



期間

▶ 計画的に進められる訓練体制か

訓練期間は天候、機体数、空港環境、インストラクター体制などに大きく左右されます。計画通りに訓練が進む環境かどうかは、モチベーションや費用にも影響する重要なポイントです。無理のないスケジュールで、効率よく経験を積める環境を確認しましょう。

ロサンゼルスは年間を通して飛行可能日が多く、インストラクターも充実しているため、効率的な訓練が可能です。



教育水準

▶ 指導力が成長を左右する

学校の教育水準や教官の質は、理解度や合格率に影響する重要な要素です。検討している訓練校がどのような教育方針を掲げているか、説明会やパンフレットを通してぜひ確認してみてください。あなたの成長を心強く支えてくれる、最適な学び舎を選びましょう。

日本の事業用ライセンス保有教官3名が在籍しています。また「経験充足のための訓練」を重要視し、合格率を高く保っています。



訓練環境

▶ 実践的な経験を積める訓練環境か

どの空港で訓練を行うかは、パイロットとして実践経験を積めるかどうかに関係します。多様な状況訓練下での訓練は、単なる知識や技術の習得にとどまらず、プロに求められる高度な「判断力」を強化します。より現場に近い環境での訓練は、アドバンテージとなりやすいでしょう。

訓練は、エアラインも就航するロングビーチ空港で実施します。混雑した交通網の中で、より実践的な航空無線を学ぶことができます。



安全性

▶ 安全文化が根付いているか

航空の世界において、安全は何よりも優先されるべきものです。整備体制や安全管理の仕組み、訓練のルールなど、学校全体に安全意識が浸透しているかを確認することが重要です。安心して訓練に集中できる環境かどうか、大きな判断基準になります。

本校では専属整備士による機体管理と、安全重視の訓練体制を徹底しています。



費用

▶ 総費用で考えることが大切

訓練費用は、実際の授業料だけでなく、滞在費や生活費なども含めた総費用で考える必要があります。また、訓練が長引けばその分費用も増えるため、単純な金額だけでなく、期間や効率性も含めて判断することが大切です。

スムーズな訓練で期間が長引きにくいと、滞在費を抑えながら、短期間・低費用で無理のない計画を立てることができます。

日本エアラインパイロットを目指す

▼ エアライン(旅客)



- ・ JALグループ
- ・ ANAグループ
- ・ ピーチアビエーション
- ・ AIRDO
- ・ 他

▼ エアライン(貨物)



- ・ JALカーゴ
- ・ ANAカーゴ
- ・ 日本貨物航空
- ・ 他



ソロフライト完遂!



自家用操縦士免許取得!



多発エンジンレーティング取得!



事業用操縦士技能証明取得!

入校

渡米前準備/訓練 | 約3~6ヶ月

- TSA登録・指紋採取
- 航空身体検査
- 事前講習(オンライン)
- 学科・無線対策
- LUXURY FLIGHTによる導入教育

※渡米前の学科試験合格を推奨しています。

就職活動

- 航空身体検査
- 書類審査
- 面接
- シミュレーターでの実技試験

就職サポートはある?

皆様のエアライン内定の実現に本気。エントリーシート・面接対策に加え、機長視点を養うトレーニングを通じて、実践力の向上をサポートしています。

▶ 詳しくは5ページへ



渡米

FAA PPL課程 | 約3ヶ月

Private Pilot License

—自家用操縦士免許

FAA(アメリカ連邦航空局)が発行。航空機を操縦するための基礎資格で、パイロットとしての第一歩となるライセンス。

PPL 免許書き換え

FAAで取得するPPLやMRなどの資格は、日本でパイロットとして活動する場合、日本の航空局(JCAB)の免許へ書き換えることができます。

経験充足 | 約2ヶ月

日本(JCAB)方式の飛び方に則って、飛行経験を充足し、JCAB事業用課程へのより確実に十分な準備を行います。

JCAB IR課程 | 約5ヶ月

Instrument Rating —計器飛行証明

日本の航空局(JCAB)が発行。本田航空他日本国内訓練校にて訓練。雲の中や視界が悪い状況でも、計器を使って安全に飛行するために必要な資格。

日本へ帰国

※受け入れ先の訓練校の状況により、待機期間が生じる可能性があります。

JCAB 事業用課程 | 約5ヶ月

日本の航空局に認められたシラバスを用いて、アメリカのスカイクリエーションにて、日本の事業用操縦士証明を取得する課程。

※この課程に関する詳細はp6へ。

基礎課程訓練修了 | 合計約6ヶ月

MR 免許書き換え

FAA MR課程 | 約1ヶ月

Multi Engine Rating —多発エンジンレーティング

双発機など複数エンジンの航空機を操縦するための資格。

就職

ゴールは
コックピット

2 社会人の挑戦

30代前半まで挑戦可能

年齢制限がネックとなりやすい**社会人**からでも、**エアラインパイロットを目指すことは十分可能**。本校の実績では、37歳でエアライン内定を果たした方もいます。新卒者に比べ、社会経験は大いなる強みになります。計画的な訓練費用を貯蓄することも可能です。しかしスタートが遅い分、訓練期間はなるべく短くしたいところ。本校は日本の航空局より認可を受け、訓練期間が大幅短縮される予定です(→p6)。第2のキャリアへの挑戦を、応援しています。

1 強力タイアップ

LUXURY FLIGHT / 本田航空

皆様のエアライン内定の実現に本気。LUXURY FLIGHTのシミュレーターを活用し、実際の採用試験を想定した訓練や最新の採用傾向を共有し、面接対策を実施しています。また、エントリーシート対策やシミュレーター試験対策まで、豊富な実績に基づき丁寧にサポート。特にエントリーシートでは、**あなた本来の強みや魅力がしっかり伝わるようアドバイス**を行います。事業用操縦士課程を終了後は、本田航空へ進み、日本国内でカリキュラムを続けることが可能です。

3 機長の視点を養う

ノンテクニカルスキルを醸成

エアラインパイロットにとって最も大切な力は、操縦技術だけではなく「**人間力=ノンテクニカルスキル**」。航空会社の採用試験でも、この力が合否を分ける大きな要素となります。本校では、毎週月曜日のJCAB志向や、2週間に1度のJCAB実践研究会を通じて、判断力・コミュニケーション力など機長として求められる視点を養います。技術だけではない、パイロットとしての総合力を磨くトレーニングを行っています。

就職先実績一覧

就職率96.0%

※2026年4月時点の情報です。都度更新いたします。
※就職率は、スカイクリエーションを修了後本田航空に進級し計器課程を修了した卒業生の就職実績となります。

♡ 日本国内

- ANAウィングス
- AIRDO
- IBEXエアラインズ
- Peach Aviation
- スカイマーク
- オリエンタルエアブリッジ
- JAL
- 日本トランスオーシャン
- ジェイエア
- 日本エアコミューター

- スターフライヤー
- 本田航空
- 朝日航空
- スカイネットアカデミー
- aero lab international

♡ 海外 (詳しくはp12へ)

- Delta Connection
- Go Jet Airways
- エンデバー航空
- メサ航空
- EVA航空 他



4 国が認めた最短距離

約1年→約5ヶ月へ短縮＜事業用課程＞

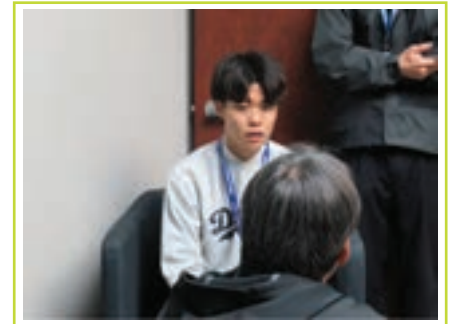
米国で日本の基礎課程から事業用課程を一貫して訓練し、自家用・事業用ライセンスを取得します。特に事業用課程は、日本人経営の民間飛行訓練校では初めて、「指定航空従事者養成施設」認可を目指しています。ライセンス発給のための試験（技能審査）は、航空局の試験官ではなく社内の技能審査員が実施します。そのため試験日程の調整を柔軟に行うことができ、効率性がさらに高まります。日本の航空局が認めた質の高い訓練で、カルフォルニアの青空の下、夢を実現させましょう。

好機



2026年8月正式認定予定

「指定航空従事者養成施設」としての認定に向けて、現在テストコースを実施中。第1期生5名は見事全員一発合格（今年2月）。現在第2期生の訓練が進行中です。正式認定を今年8月に予定しています。



年間約400人近くの 新規パイロットが必要な時代に

現在、世界各地でパイロット不足が深刻化しており、特に日本では「2030年問題」と言われています。背景には、ベテランパイロットの大量退職の時期を迎えていること、そしてパンデミック期以降の航空需要の回復・拡大があります。さらに、2030年には年間約6000万人のインバウンドが予想され、航空インフラ整備は国の重要課題となっております。その結果、航空業界では、これまでにないほど人材が求められており、日本では年間約400人近くの新規パイロットが必要とされる見込みです。

とはいえ、パイロットは空の交通網を支え、多くの乗客や貨物の安全を守る責任ある仕事。誰にでも簡単になれる職業ではありません。だからこそ、確かな訓練と準備が重要になります。



実践

5 空の聖地が教室

ロングビーチ空港で磨く実践力

訓練の舞台は、エアラインも就航するロングビーチ空港。多くの航空機が行き交う環境のため、**無線運用も実践的で、エアラインパイロットとしての感覚を養う**ことができます。また、3本の滑走路と4つのヘリコプター練習パッドを備えた、恵まれた訓練環境です。

ロングビーチ空港

実は、ロサンゼルス国際空港よりも古い歴史を持つ空港。「航空王」と呼ばれたドーハティがエアショーを行い、ボーイング社もかつてテストフライトを行っていた、航空史ゆかりの地なんですよ。

6 300日がフライト日和

安く、効率的に訓練を行える環境

「滞在費用を抑えたい」「訓練期間は短い方がいい」という考え方はとても合理的。訓練が長引くと、費用だけでなく集中力やモチベーションの維持も難しくなります。ロサンゼルスでは季節によっては**ほぼ毎日フライトが可能**で、効率的な訓練が行える環境です。

7 日常全てが英語圏

リアルな英語に触れる毎日

スーパーやカフェでの会話、日本語を話さない生徒さんや教官とのコミュニケーションなど、英語に触れる機会は日常のあらゆる場面に。ここでの生活そのものが、**実践的な英語力を磨く環境**です。国際線パイロットを目指し、英語力を高めたい方にはぴったりです。



8 一流が一流を育てる

質の高い指導と、個別サポート

本校には、日本の事業用操縦士免許を保持する教官が3名在籍。定期的な勉強会を通じて常に知識と指導力をアップデートし、**質の高いフライト教育を提供**しています。また、隔週で個人面談を実施しており、訓練の進み具合から将来への不安まで丁寧にフォロー。**技術面とメンタル面の両方から、迷わず成長できる環境を整えています。**



9 仲間と成長する

バディ制度を積極採用

基礎課程ではバディ制度を積極採用。**仲間と情報を共有し、互いに刺激し合いながら学ぶこと**で、理解を深め、より確実な成長につなげていきます。

10 万全が当たり前

整備士が常駐

機体の不備は、訓練の遅れにつながる要因にも。本校では専属の整備士が常駐し、機体の状態を常にチェック。**万が一の不備にも迅速に対応し、安心して訓練に集中できる環境を整えています。**

人材



≫ 同じ夢を追う仲間と過ごす

訓練以外の時間も、共に学び、励まし合える仲間がすぐそばにいます。共同生活を通じて生まれる絆は、将来パイロットに不可欠な「チームワーク」を養う貴重な経験となるはずでず。また、ルールを守り環境を清潔に保つ習慣は、プロとして必要な自己管理能力を磨く絶好の機会となります。

▼ 4つの学生寮

本校では、4棟の一軒家を学生寮として提供しています。それぞれの家の特徴や訓練生の状況に合わせて最適な環境を割り振り。アットホームな雰囲気の中で、リラックスして過ごすことができます。

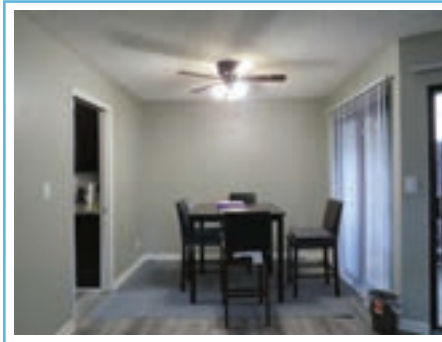
▼ ルームシェア・個室

1室2名から4名のルームシェアとなります。また希望であれば、個室もございます。キッチンは一棟で共有し、トイレ兼シャワールームを各室のメンバーと共有します。共同生活や自炊を通して、生活力も身に付きます。

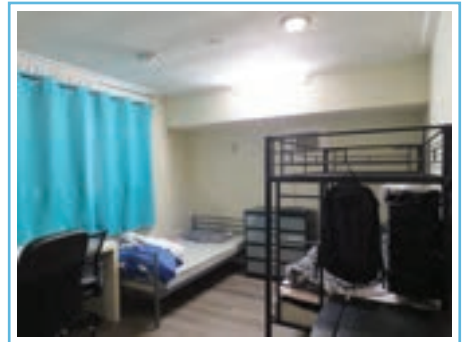
▼ 共有キッチン(寮1)



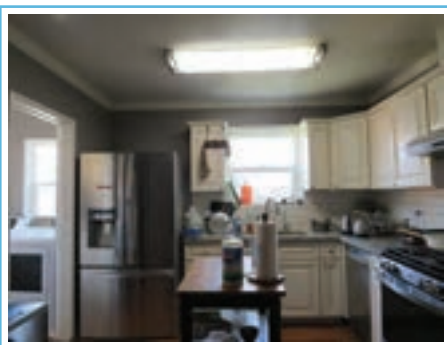
▼ 居間



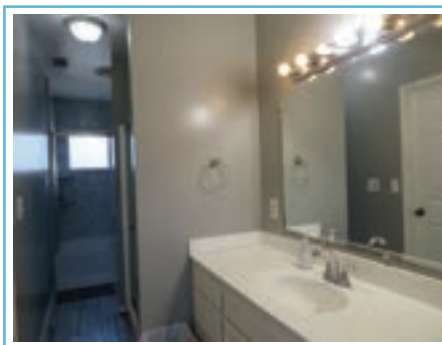
▼ 3人部屋



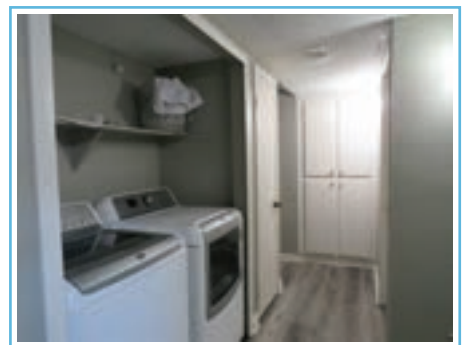
▼ 共有キッチン(寮2)



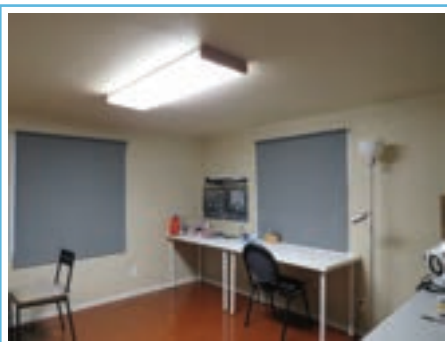
▼ トイレ兼シャワールーム



▼ 洗濯機・乾燥機



▼ 自習室



≫ Q&A

▶ 通学方法はありますか？

多くの学生が電動自転車・スクーターを利用しています。ご自身で用意されるほか、有料の貸出も行っておりますので、ご相談ください。またレンタカーや自家用車をご利用される場合もご相談ください。

▶ 部屋は選べますか？

お部屋の割り振りは、それぞれの訓練内容や空き状況を考慮し、当校にて決めさせていただきます。最適な環境で訓練に集中できるよう配慮しております。

▶ 寮以外の選択肢はありますか？

現地の家庭に滞在する「ホームステイ」も選択可能です。ご希望に合わせて柔軟に対応いたしますので事前にお知らせください。

▶ 女性専用の部屋はありますか？

はい、女性専用のお部屋をご用意しておりますのでご安心ください。なお、建物自体は男女共用となりますが、プライバシーに配慮した運営を行っております。

31歳で挑戦し、エアラインへ



藤沼修了生 日本航空株式会社

エアラインへの就職を目的に、31歳でスカクリに入りました。スカクリの素晴らしい点は、教育と計画性、ロケーションです。日本人教官が、日本での事業用操縦士課程を見越した教育をしてくれます。お陰様で帰国後の訓練にとてもスムーズに移行できました。計画性の点では、最初に頂いた見積もり内の金額、期間で終えることができました。費用及び訓練期間をコンパクトに収めたい身として、とても助かりました。ロケーションの点では、ロングビーチは遊びに学びに何でもできる最高の場所でした。週末は必ず遊びに出て、リフレッシュができておりました。学びと楽しさが詰まった6か月間でした！スカクリの皆様、ありがとうございました！

自費組から、エアラインへ



山口修了生 スカイマーク株式会社

社会人を経験してから、夢だった無事パイロットに成りました。オフィスワークの日々の中憧れのあったパイロットになる夢を諦めきれず、「自力でなる」と決断し、効率的で低コストな道考えた結果が Sky Creation でした。カルフォルニアの気候は訓練に最適で、あつという間の7ヶ月でした。スタッフ・訓練生ともに「一体感」を感じ、合格の時は自分のことのように喜んでくれました。また教官の「褒めて伸ばす」教育法が、良い所を引き出してくれたと思います。

社会人から、エアラインへ



石井修了生 日本航空株式会社

ハイレベルな訓練の中でも、楽しみながら取り組むことができました。ゴールに向けてやるべきことを細分化し、一つまた一つとこなすことが大切だと学びました。そして何より楽しくないと質も量も下がるので、Sky Creation では最大限「楽しんで」訓練してください。とはいえ自分を厳しく律することも大切です。日本訓練も経験しましたが、厳格な規定の中での訓練だったのでそういった面を鍛えることもできました。





スカイクリエーションは2006年、当時教官をしていた代表・中村が担当していた訓練生の声に背中を押されて誕生しました。当時お世話になっていたフライトスクールは極端な営利主義で、そのしわ寄せが訓練生に及ぶ環境でした。「訓練生の純粋な笑顔が見たい。理想のフライトスクールを作ろう。」その思いこそが、本校設立の原点です。それから20年。今では多くのスタッフと多くの訓練生の笑顔に囲まれています。素晴らしい学校づくりに力を貸してくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

Our History

- **2006** 「生徒さんのためになるフライトスクールを作りたい」という想いで、Sky Creation, Inc. を設立。
- **2009** 初のエージェント契約。
- **2015**
 - 2月 本田航空との提携を開始し、日米の訓練移行をスムーズ化。
 - 12月 FAAよりPart141訓練校として認定を取得。
- **2019** SEVIS認可を取得し、職業訓練ビザでの留学生受け入れを開始。
- **2020** 12月 グリーンカード発行可能企業として承認され、アメリカでの就職サポートを開始。
- **2025** 9月 日本の航空局による「指定航空従事者養成施設」への認定のためテストコースを開始。
- **2026** 2月 上記テストコース第1期生全員合格。第2期生テストコース開始。



▶ 20周年記念動画公開中



▲ Instagram(@sky_creation.inc)

▲ YouTube(@skycreation2463)

SKY CREATION, INC



アメリカでプロパイロットになる場合

日本のみならず、世界を視野に入れた挑戦を。

本校は、アメリカでエアラインパイロットを目指す方の情熱を全力でバックアップしています。立ちちはだかる壁は決して低くありませんが、その先には大きな可能性と、夢が広がっています。

就職先は、エアラインやチャーター事業、コーポレートジェットや観光、防災など多岐に渡り、比較的雇用の機会が多く、パイロットとしての可能性が広がっています。

しかし、アメリカでの就職はグリーンカードの取得が最低条件となるので、そのハードルを超えることが必要です。

アメリカに限らず、他国でのキャリア形成を
検討されている方も、
どうぞお気軽にご相談ください。



入校

渡米前訓練 | 約6ヶ月

- 事前講習(オンライン)
- TSA登録
- 指紋採取

渡米

FAA PPL課程 | 約3ヶ月

Private Pilot License

— 自家用操縦士免許

FAA(アメリカ連邦航空局)が発行。航空機を操縦するための基礎資格で、パイロットとしての第一歩となるライセンス。

FAA IR課程 | 約3ヶ月

Instrument Rating

— 計器飛行資格

雲の中や視界が悪い状況でも、計器を使って安全に飛行するために必要な資格。

FAA CPL課程 | 約3ヶ月

Commercial Pilot License

— 事業用操縦士免許

雲の中や視界が悪い状況でも、計器を使って安全に飛行するために必要な資格。

就職活動

- 航空身体検査
- 書類審査
- 面接
- シミュレーターでの実技試験など

CFIとして時間付け | 約2年

- 時間付け 約1,500時間

アメリカの多くのエアラインでは、採用条件として「総飛行時間1500時間」が一つの基準となります。CFIを務めながら飛行経験を積み、エアライン就職を目指します。さらに、多発エンジンレーティングも同時に訓練し、取得します。

CFIとして就職

学校からビザ/ステータスサポートを受け、CFIとして就職します。ビザやステータス、学校の条件によりハードルは決して低くありません。目標実現のためには、事前の準備と粘り強い取り組みが必要です。

FAAプロパイロット養成コース終了 | 合計約14ヶ月

FAA CFI課程 | 約3ヶ月

Certified Flight Instructor

— 飛行教官資格

操縦技術や知識を指導するための資格。指導を通じて、自身の操縦技術と理解をさらに高める。

ビザ/ステータスサポートはある？

本校では、選抜された候補者の方を対象に、ビザやグリーンカードの取得をサポートしています。ご自身の努力が不可欠ですが、夢の実現を全力で応援いたします。

» 実際の卒業生は次ページへ

CFIからエアラインへ



上乃さん メサ航空

遠回りはしましたが、結果としてエアラインパイロットになることができました。CFI取得を目指して他校で挑戦したもののうまくいかず、一度は断念。しかし、その後スカグリと出会い、再びチャレンジする機会を得ました。訓練の要領をつかみ、知識と技術の両面で成長することができました。訓練の厳しさは今でも忘れられませんが、教官や先輩方に支えていただき乗り越えることができました。その後CFIとして採用していただき、多くの訓練生と出会う中で、パイロットとしてだけでなく人としても成長できたと感じています。また、安全が求められる航空の世界では、高いコミュニケーション能力が欠かせません。日々の訓練環境の中で、それを自然と身につけることができたことも大きな財産です。

現在は
キャプテンとして
活躍しています

CFIからエアラインへ



鈴木さん エンデバー航空

米フロリダの学校で事業用免許まで取得しましたが、当時は「なんとなく飛んでいる」という感覚が拭えず、自分の言葉で根拠を持って教える自信がありませんでした。そのような中、さらなる成長を求めてスカグリのCFIコースに入校を決意しました。スカグリではCFIとして4年間働き、その後グリーンカード取得のサポートもいただき、無事就職することができました。実はパイロットを夢見始めたのは高校生の頃。しかし当時は学歴や視力の問題で一度は諦め、別の専攻で大学へ進学しました。振り返れば遠回りでしたがそれもいい経験です。ロングビーチでの生活は快適で、住みやすさや食事、環境は最高でした。いつか自分のフライトで日本へ行くことが夢なので、大手エアラインへのステップアップを次の目標に挑戦を続けています。

現在は
キャプテンとして
活躍しています